

# 営業報告書

(平成14年4月1日から  
平成15年3月31日まで)

## 1. 営業の概況

### (1) 営業の経過および成果

#### ① 会社の業績

(単位：百万円)

	当期(第132期)	前期(第131期)	前期比%
売上高	28,414	28,121	101.0
営業利益	1,048	1,032	101.5
経常利益	1,141	1,140	100.1
当期利益	638	626	101.9

#### ② 売上高セグメントデータ

(単位：百万円)

	当期(第132期)	前期(第131期)	前期比%
国内営業	17,089	17,519	97.6
海外営業	9,202	8,627	106.7
工機営業	2,121	1,975	107.4

売上ウエートは国内営業が60.1%、海外営業は32.4%、工機営業が7.5%です。輸出比率は前期の30.7%から1.7ポイント増加し、32.4%になりました。

上記のような業績になった要因を、各営業ごとにご説明いたします。

#### (国内営業)

国内マクロ経済低迷の影響を、当自動車整備補修業界ももろに受けました。営業車両の稼働率が低下したこと、経費節約ムードが浸透し、部品交換頻度の漸減傾向がづきましました。カー用品ルート販売からの一部撤退などもあり、売上高は前期比97.6%となりました。

#### (海外営業)

地域別では部内ウエイトが42.6%のアジア・オセアニア地域が、市況の回復を背景に前期比113.3%であったのをはじめ、欧州・北米地域も好調でした。中南米地域(ウエイト27.4%)は前期の大幅増の反動もあり前期比95.1%に留まりましたが、業界内では依然高水準を維持しています。中近東・アフリカ(ウエイト17.9%)は予定どおりの売上を確保しました。海外営業トータルの売上高は前期比106.7%となりました。

#### (工機営業)

産業機械車両メーカーに当社開発商品を組付け納入している営業部門です。

納入先の生産台数は、国内景気の影響もあり低水準のまま推移しましたが、企画提案やライン攻略が功を奏しました。売上高は前期比107.4%となりました。

### (2) 設備投資の状況および資金調達の状況

特記すべき事項はありません。

### (3) 会社が対処すべき課題

#### ① 経営の先進性の追求

- \* 経営監視と業務執行を分離する米国型企业統治をモデルとして、当社の規模にあった制度と運用を模索していきます。
- \* 既に取り締役および執行役員の任期を1年にして、緊張感を持って職務にあたっています。同時に入れ替え可能な役員予備軍の育成に取り組んでいます。
- \* 監査役は社外監査役を過半数の2名にしています。かつ、コンプライアンス(法令遵守)経営を意識し、中堅の公認会計士(40歳)と弁護士(38歳)が就任しています。

#### ② 「持続する収益力」の維持・強化

- \* 企業の根源的な目的は「存続」ですが、これは必要条件ではありますが十分条件ではありません。「豊かに存続すること」これが当社の企業目的であり、永遠の経営課題であると認識しています。
- \* 「持続する収益力」の維持・強化が株主・社員・取引先に長期にわたって報い、社会にも貢献できる道であると考えています。
- \* 最も重要なものさしはROE(株主資本利益率)であると捉えています。目標は10%にしております。営業では、営業利益率に焦点を合わせて、その向上に取り組んでいます。
- \* 方法はまず人材の育成。つづいて変革、開発、開拓へのチャレンジの継続。そしてやらねばならないことをすべて、極端なほど勤勉に、驚くほど徹底してやりつづけることであると全SPKマンは理解しています。

#### ③ 「高配当」を持続させる

- \* オーナーのみなさまへの利益還元は、当社の重要な経営課題と考えています。
- \* 配当性向30%、配当30円の「W30」が目標です。当期も2円増配し、30円配当をいたします。

#### ④ 平成15年4月1日に子会社化した株式会社丸安商会とのシナジー効果を高める。

次期の業績見通しは次のとおりです。

平成15年4月1日に産業車両部品の卸を営む株式会社丸安商会（大阪市）の全株式の譲渡を受けましたので、次期から連結決算を実施いたします。

<連結> (単位：百万円)

	次期(第133期)	当期比%
売上高	29,350	-
営業利益	1,120	-
経常利益	1,220	-
当期利益	680	-

<単独> (単位：百万円)

	次期(第133期)	当期比%
売上高	28,700	101.0
営業利益	1,060	101.1
経常利益	1,150	100.8
当期利益	650	101.8

1株当たりの当期利益は115.09円となります。

オーナーのみなさまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### (4) 営業成績および財産の状況の推移

区 分	第129期 (11/4~12/3)	第130期 (12/4~13/3)	第131期 (13/4~14/3)	第132期 (14/4~15/3)
売上高 (百万円)	28,321	28,573	28,121	28,414
営業利益 (百万円)	1,027	1,064	1,032	1,048
経常利益 (百万円)	1,143	1,163	1,140	1,141
当期利益 (百万円)	625	445	626	638
1株当たり当期利益(円)	113.68	81.04	113.94	113.06
総資産 (百万円)	10,091	10,697	10,585	10,955
純資産 (百万円)	5,487	5,800	6,261	6,733
1株当たり純資産(円)	997.69	1,054.58	1,138.47	1,224.28
株主資本当期利益率(%)	12.1	7.9	10.4	9.8

- (注) 1. 1株当たり当期利益は期中平均発行済株式総数に基づき、また、1株当たり純資産は期末発行済株式総数に基づき算出しております。なお、第131期より、それぞれ発行済株式総数から自己株式数を控除した株式数により算出しております。
2. 第132期より1株当たり当期利益については、「普通株主に帰属しない金額」（取締役賞与17,000千円）を控除して算出しております。
3. 株主資本当期利益率は、期首資本の合計額と期末資本の合計額の平均に基づき算出しております。

## 2. 会社の概況（平成15年3月31日現在）

### (1) 主要な事業内容

当社は自動車部品・用品および産業機械車両部品の国内販売と輸出入を主な事業としております。

### (2) 主要な事業所

<本社>	大阪市福島区福島五丁目5番4号
<営業所>	札幌・仙台・宇都宮・東京・名古屋・富山・近畿(大阪市)・広島・米子・高松・福岡・鹿児島・沖縄
<出張所>	浜松・徳島・熊本
<センター>	外車部品(大阪市)
<工機関係>	東京工機部(埼玉県さいたま市) 大阪工機部(大阪市)
<その他>	カスタマイズドパーツ部(東京都品川区)

### (3) 株式の状況

① 会社が発行する株式の総数	22,000,000株
② 発行済株式の総数	5,500,000株
③ 株主数	2,349名
④ 大株主	

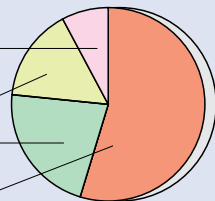
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	所有株式数	議決権比率	所有株式数	議決権比率
	株	%	株	%
中嶋功	827,000	15.04	-	-
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	168,300	3.06	-	-
ロイヤルトラストコーポレーション カナダクライアントアカウント	143,500	2.61	-	-
西野義貞	135,500	2.46	-	-
S P K 社員持株会	129,106	2.35	-	-
日本生命保険相互会社	120,000	2.18	-	-
竹田和平	120,000	2.18	-	-
株式会社エクセディ	100,000	1.82	26,100	0.05
スタンレー電気株式会社	100,000	1.82	16,352	0.01
UFJ信託銀行株式会社	82,000	1.49	-	-

⑤ 自己株式の取得・処分等および保有

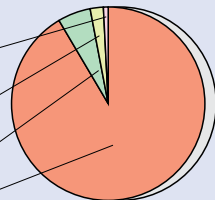
取得株式	
単元未満株式の買取りによる取得	
普通株式	111株
取得価額の総額	103千円
処分株式	
普通株式	-株
決算期における保有株式	
普通株式	183株

⑥ 株式分布状況

・発行済株式の総数	5,500,000株
外国法人	429,800株 (7.8%)
金融機関・証券会社	858,455株 (15.6%)
国内法人	1,205,815株 (21.9%)
個人・その他	3,005,930株 (54.7%)



・株主数	2,349名
外国法人	17名 (0.7%)
金融機関・証券会社	52名 (2.2%)
国内法人	130名 (5.5%)
個人・その他	2,150名 (91.5%)



(4) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
名	名	歳	年
221	△ 5	39.1	14.9

(注) 上記の従業員数、平均年齢および平均勤続年数には、パートタイマーは含まれておりません。

(5) 取締役および監査役

会社における地位	氏名	担当又は主な職業
代表取締役社長	中嶋 功	
専務取締役	小高 伸介	国内営業本部長
取締役	砂川 裕伸	海外営業本部長
取締役	角田 孝治	国内営業副本部長
常勤監査役	遠藤 肇	
監査役	榎 卓生	公認会計士・税理士
監査役	中務 尚子	弁護士・中央総合法律事務所

(注) 1. 監査役榎 卓生および中務尚子の両氏は、「株式会社  
の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18  
条第1項に定める社外監査役であります。

2. 当期中の役員の変動

- ①平成14年6月27日開催の当社第131回定時株主総会  
終結の時をもって、大植史義、遠藤 肇の両氏は任  
期満了により取締役を退任し、下川順夫、中田陽市  
の両氏は監査役を辞任いたしました。
- ②平成14年6月27日開催の当社第131回定時株主総会  
において遠藤 肇、中務尚子の両氏は新たに監査役  
に選任され、就任いたしました。

3. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

当社は、平成15年4月1日開催の取締役会におきまして、株  
式会社丸安商会の全株式を取得し子会社化することを決議した  
うえ、同日、同社株主である安養寺敏美氏他6名より株式取得  
を実施いたしましたので下記の通りお知らせいたします。

- (1)商号 株式会社丸安商会
- (2)本店所在地 大阪市福島区福島3丁目6番22号
- (3)資本金の額 10百万円
- (4)取得株式数および取得前後の所有株式の状況
 

異動前の所有株式数	-株 (持分比率 0%)
取得株式数	4,000株
	(取得価額260百万円)
異動後の所有株式数	4,000株 (持分比率100%)

(注) 本営業報告書中の記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて  
表示しております。